

介護予防サービス・支援計画書

NO. _____

利用者名 予防 おさむ 様 認定年月日 平成21年2月27日 認定の有効期間 平成21年3月1日 ~ 平成22年2月28日 初回・紹介・継続 (認定済) 申請中 要支援1・要支援2 地域支援事業

計画作成者氏名 ケアマネ B子 委託の場合:計画作成事業者・事業所名及び所在地(連絡先) NCC居宅介護支援センター 愛知県名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル(052-219-0431)

計画作成(変更)日 平成21年3月18日(初回作成日 平成21年2月27日) 担当地域包括支援センター: 社会福祉法人 地域包括支援センター

目標とする生活

1日	バランスのとれた食事をおいしく食べ、体力についても毎日散歩できる。	1年	ボランティア活動や昔の仲間との旅行に参加する。
----	-----------------------------------	----	-------------------------

アセスメント領域と現在の状況	本人・家族の意欲・意向	領域における課題(背景・原因)	総合的課題	課題に対する目標と具体策の提案	具体策についての意向本人・家族	目標	支援計画					
							目標についての支援のポイント	本人等のセルフケアや家族の支援、インフォーマルサービス	介護保険サービスまたは地域支援事業	サービス種別	事業所	期間
運動・移動について 頭痛が痛く、屈むことや長時間の立位等は困難。日常生活動作に制限がある。転倒の不安もあり、外出が困難でもある。	腰が痛く、不自由することがある。しかし、リハビリをしながら少しずつ良くしたいと思っている。	■有 □無 腰椎圧迫骨折後、下肢筋力の低下がある。円背のため、背中を伸ばしたり、重いものを持つ事も困難。	1. 足の筋力低下によって歩行が難しく、転倒の危険性がある。	1. (目標) 転ばないように安全に歩く事ができるようになる。	週一回のデイサービスは気分転換になり、他者との交流ができる。	転ばないように安全に歩く事ができるようになりたい。	歩行機能維持、回復するようになるべく外出や歩くことをする。	たばこなど近くの買い物は自分でできるように心がける。調子がよい時は散歩に行く。	生活機能評価を受ける。運動機能向上教室で下肢機能を強化する。	介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用)	ぐるーぷほーむ NCC	週1回
日常生活(家庭生活)について 腰痛のため、腰を屈めることや、長時間の立位を行う事は困難である。介護保険での訪問介護を利用し、上記について支援を受けている。	ヘルパーに手助けしてもらったり、息子を買い物をしてもらうなど協力してもらい、生活できている。	■有 □無 運動・移動についてと同様	身体に負担のある家事を行うことにより、腰痛悪化のおそれがある。	(具体策) ①適切な機能訓練を行い、筋力・体力をつける。	機能訓練に参加し、身体にきつい内容で無い訓練を行い、継続していきたい。	腰に負担のかかる家事を除き、自分で出来る家事は自分で行い、身体を動かす。	腰への負担を避け、痛みがひどくならないようにする。自分で出来る事は自分で行なう。	うがい、歯磨きを習慣にする。	口腔機能評価と口の中の手入れを学ぶ。	介護予防訪問介護	NCC名古屋ヘルパーステーション	週2回
社会参加、対人関係・コミュニケーションについて 古くから住む住宅のため、近隣との付き合いをもつが、最近は行き来が少ない。デイサービスに参加し、他者との交流をもつ。	本人: 週一回のデイサービスが良い気分転換になっている。	■有 □無 他人と会う機会がなくなり、交流が減ってきている。		2. (目標) 腰に負担のかかる家事を除き、自分で出来る家事は自分で行い、身体を動かす。	妻の介護もあるので、生活上必要な支援を受けて、自分でも身の回りのことをしていきたい。		昔の仲間と連絡をとってみる。ボランティアセンターに相談に行く。	会食会や、男の料理教室などきっかけがあったら、声をかけてもらう。	介護予防通所介護	ニコニコ介護 デイサービスセンター		隔週
健康管理について 毎月定期的に通院し、医師に疾病について相談している。内服も自己管理している。	本人: 血圧の値など、健康管理については気にかけている。	□有 □無 身体を動かす機会が減っているため、リハビリなど身体を動かす機会を作る。		(具体策) ①自分で出来る家事は今まで通り自分で行なう。②腰に負担のかかる家事は、支援を受ける。				栄養バランスと調理を学ぶ。	地域介護予防啓発事業	Tセンター		週2回

健康状態について
□主治医意見書、生活機能評価等を踏まえた留意点
転倒骨折の危険性があり、必要時見守りが必要。

【本来行うべき支援ができない場合】
妥当な支援の実施に向けた方針
ボランティア活動などについては、外出することに慣れたり、よい機会があった時に支援に結びつけていくことにする。

総合的な方針:生活不活発病の改善・予防のポイント
ご本人が興味があり、能力を発揮出来る活動に参加できるよう、今の下肢筋力の向上、健康状態を改善しましょう。そのためには、健康状態を知ることが重要です。おいしくバランスの取れた食事を食べられるように口の状態を良くすること、栄養や調理について学ぶことが大切です。

基本チェックリストの(該当した質問項目数)/(質問項目数)をお書き下さい。
地域支援事業の場合は必要な事業プログラムの枠内の数字に○印をつけて下さい。

	運動不足	栄養改善	口腔内ケア	閉じこもり予防	物忘れ予防	うつ予防
予防給付または地域支援事業	0/5	0/2	0/3	0/2	0/3	0/5

地域包括支援センター	【意見】
	【確認印】

計画に関する同意
上記計画について、同意いたします。

平成 年 月 日 氏名 印